2009.12.　第 63 号

石川県立大聖寺高等学校

同 窓 会 会 報

発行　石川県立大聖寺高等学校同窓会〈TEL　0761-73-2771〉〈FAX　0761-75-7117〉
〈E-mail　seikobog@dsjhs.jp〉

「若き血潮に燃ゆる意気」
いざ百年　さらなる飛躍

昭和55年

昭和29年

昭和63年

平成15年

昭和42年

〔写真は過去の体育祭応援風景〕

創立百周年記念事業を成功させよう！

いよいよ百周年記念式典の日まで十ヶ月程となり、募金活動が始まりました。今回の同窓会報は百周年に向けた特別版とし、趣意書送付の方全員に同封することにしました。通常は終身会員の方（約八千名）のみにお送りしてしておりますが、この機会を捉え、同窓会報ならびに同窓会活動を少しでも多くの方に知っていただく意味を込めてこのようにしました。

同窓会報は年二回の発行で、学校の近況、理事会・総会の報告、各地区聖高会のようす、クラス会便り、特別寄稿などを内容としております。昭和五十六年以降卒業の方は卒業と同時に終身会員になっていただいておりますが、それ以前の卒業生は一万円を事務局へお納めいただかないと終身会員にはなれません。ぜひこの機会に終身会員になり、同窓会報を購読されませんか。ご希望の方は事務局までご連絡ください。

また、各地区聖高会は現在、東京、東海、近畿、金沢、福井と五つあり、会員同士の情報交換や親睦を深めることを中心に行事や活動を行っております。地区同士の交流も行っているようです。各地区にお住まいの方はぜひ顔を出してみてください。連絡先は本校ホームページで確認できますが、この会報にも載せておきます。

今後、同窓会事務局として、図書館の改築工事の進捗状況や募金の集金状況などをホームページに載せていく予定です。百周年記念事業の動向についてはホームページでご確認下さい。最後にこの百周年記念事業がきっかけとなり、皆様のご協力を得ながら同窓会活動が今後ますます活発になることを願っております。

百周年記念事業に向けた これまでの経過について

平成十九年度総会において学校側から老朽化した図書館の建て替えをお願いしたいとの要望が出され、会長より記念事業の概要やスケジュールの素案が示されました。この後、同窓会単独で図書館の建て替えは経費的に無理があるとの判断から、県に一部耐震工事をお願いし、大幅改築を行うという方向で話を進めることになりました。この案は平成二十年度前期理事会で示され、続く総会で県の動向についての報告がなされました。この前期定例理事会では記念誌編纂の準備について承認されました。

平成二十年八月に同窓会会長、同窓会副会長、PTA会長、PTA後援会会長が図書館棟の整備についての要望書を持って県へ陳情に伺い、その後、知事の承認を得ることができ話が一気に進むことになりました。これを受けて、県と同窓会がそれぞれ負担する大規模改築に関しては県の対応が具体的に決まるまで公表できず公表が遅れたこと、寄付控除の手続きのために必要な書類の一部提出が遅れ、趣意書発送が予定より大幅に遅れるなど、皆さまに大変ご迷惑をお掛けしました。この場を借りてお詫び申し上げます。

組織に関しては平成二十一年二月の後期理事会で各委員および常任委員が発表され、七月の前期理事会を経て、八月の総会で組織と委員および予算案が承認されました。ここで承認された百周年記念事業実行委員会の組織図を載せておきます。

現在、各委員会が中心となり、百周年記念事業に向けて鋭意業務を進めております。百周年記念事業の内容に関しては趣意書でご確認ください。記念式典や祝賀会に多くの方のご出席をお待ちしております。最後に、寄付依頼に関して、担当者が直接玄関先までお願いに上がることもあろうかと思います。その折は是非、あたたかい志を賜りますようお願い申し上げます。

顧　問	萬谷　守男（昭20）
	竹田　永一（昭22）
参　与	平本　正康（昭30）
	上田　政憲（昭40）
名誉会長	旭　　直樹（昭45）
PTA会長	久田登喜夫（昭52）

会　長	副会長	実行委員長
下口　幸雄（昭37）	琿　佐智子（昭26） 竹野　　茂（昭30） 土田　良子（昭39） 長岡　義明（昭42） 北田幹太郎（昭43） 武田　　純（昭45） 河嶋　興慶（昭45） 天日喜代治（昭46） 今津和喜夫（昭47） 中村　隆泰（昭53） 堀　　勉（昭37） 中西　道彦（昭35） 中嶋　幸寿（昭37） 黒木　輝久（昭36） 山下　　修（昭38）	竹野　　茂（昭30）

税務顧問 会　計	河南　彰一（昭37）

事務局	鴻埜　伸一（昭49）
	田中　幸子（昭37）
	堀　　隆子（昭46）

監　事	房野　久吾（昭25）
	平松　静代（昭33）
	松中　　滋（昭38）

総務委員会 常任委員長	委　員（同窓会）		委　員（学校教員）	
琿　佐智子 土田　良子 中村　隆泰	北見　正孝（昭27）	西田　悦子（昭34）	鴻埜　伸一（昭49）	赤田　英明
	山岸　智治（昭37）	中川　栄子（昭42）	三津野　真澄	荻野　　隆（平元）
	三輪　昭江（昭42）	下口　　進（昭44）		
	西野　正人（昭48）	萬谷　恭子（昭51）		
	塚田　典江（昭53）	山口　忠志（昭55）		
	橋本　真琴（昭56）	田畑　　徹（昭58）		

財務委員会 常任委員長	委　員（同窓会）		委　員（学校教員）	
北田幹太郎 武田　純 天日喜代治	岡田　俊夫（昭42）	川向　敏晴（昭44）	西出　隆則（昭47・教頭）	
	竹内　和良（昭45）	西山　幸男（昭46）	山村　和惠（昭46）	川端　正明（昭47）
	永山　信也（昭47）	橋本　昌治（昭59）	江指　弘美（昭55）	
	高村　昌治（昭62）			

事業委員会 常任委員長	委　員（同窓会）		委　員（学校教員）	
新井　重男 （昭30）	糸谷　千治（昭29）	川瀬　泰彦（昭30）	川本　幸男（事務長）	西田　　修
	長谷川浄教（昭30）	打本　弘喜（昭31）	中嶋　茂樹（昭56）	東　　綾子（昭45）
	畳谷　克司（昭34）	畑　　忠（昭35）	中田　裕子（平6）	
	清水屋慎二（昭36）	村谷　康夫（昭36）		
	大和　謙市（昭37）			

式典委員会 常任委員長	委　員（同窓会）		委　員（学校教員）	
今津和喜夫	佃　くみ子（昭47）	掛山　政規（昭47）	細道　政祥（教頭）	越田　　敏
	湯尻　達也（昭52）	東藤和加子（昭54）	草深　　護	宮越　雅一
	田向　公一（昭58）		藤澤　峰子（昭52）	

祝宴委員会 常任委員長	委　員（同窓会）		委　員（学校教員）	
長岡　義明 河嶋　興慶	前端　武文（昭42）	米山　吉昭（昭48）	内浦　博志	山田　卓也
	山口　尚彦（平4）	清水　宏美（平10）	東出　康子	中川　裕惠（平5）
	杉村　亜矢（平10）	奥野　貴浩（平11）		

記念誌委員会 常任委員長		委　員（学校教員）	
平本　正康 上田　政憲 中村　隆泰		新本　欣悟	岩城　栄淳（昭59）
		高根　　睦	大田　　新

（　）は卒年

平成二十一年度本部同窓会活動について（報告と予定）

　百周年に関しては、「百周年記念事業に向けたこれまでの経過について」で触れましたので、ここでは総会で承認された平成二十年度事業報告および決算報告、平成二十一年度事業計画および予算案を掲載しておきます。

　前期理事会の卓話では本校教諭の新本欣悟氏（記念誌委員会体表）より、「南加賀における中等教育のあゆみ」と題して話していただきました。女学校、大聖寺中学の成立状況などに触れ、母校の果たした役割をかいま見る興味深いものでした。総会では福井聖高会長である山下修氏に「動物たちからのメッセイージ」と題して記念講演を行っていただきました。獣医としてのこれまでの経験に基づくお話で、人間とペットとの関わりについて考えさせられるものでした。

　平成二十二年二月七日(日)には後期定例理事会が予定されています。百周年記念事業実行委員会の各委員会の取組状況、募金状況などの報告が予定されています。卓話は加賀市地域振興部歴史文化課長の田嶋正和氏にお願いしてあります。演題は「誇れるふるさと加賀市」（予定）です。たくさんの理事の方のご出席をお願いいします。

下口会長

山下修氏

平成20年度　一般会計決算報告

収入の部　　平成20年4月1日～21年3月31日

科目	予算額	決算額	増減額	摘要
入会金	2,380,000	2,380,000	0	238名×10,000円(第60回卒業生)
終身会費	2,480,000	2,520,000	40,000	(238名＋14名)×10,000円
繰越金	1,270	1,270	0	
諸収入	178,730	206,757	28,027	利息、英語弁論大会協賛金、名簿代
合計	5,040,000	5,108,027	68,027	

支出の部

科目	予算額	決算額	増減額	摘要
総会費	240,000	259,950	19,950	総会補助、ポスター代、看板代、講師謝礼等
会議費	180,000	161,276	△18,724	ハガキ代　茶菓子代
事業費	1,350,000	1,309,280	△40,720	総体・総文全国大会補助　英弁　会報61号62号
事務費	1,380,000	1,353,867	△26,133	会報郵送代　封筒代　会報用宛名シール　電話代
事務手当	1,030,000	1,030,000	0	
各地区聖高会交流費	490,000	433,880	△56,120	福井、東海、東京、近畿総会出席
慶弔費	100,000	20,000	△80,000	弔費
雑費	60,000	48,389	△11,611	新聞代　加能人
予備費	0	0	0	
基本財産	210,000	490,000	280,000	
次年度繰越金	0	1,385	1,385	
合計	5,040,000	5,108,027	68,027	

基本財産過年度積立金	36,250,000
平成20年度一般会計より	490,000
百周年記念事業会計へ	-1,600,000
	35,140,000
百周年記念事業会計	
収入（基本財産より）	1,600,000
支出	178,500
利息	939
	1,422,439

監査報告書

平成20年度会計監査について帳簿及び証拠書類等を精査したところ、整備され、妥当であるものと認めます。

平成21年5月21日

監事　[illegible]
監事　平松静代
監事　[illegible]

平成20年度事業経過報告

H20
4．13　福井聖高会総会
5．20　会計監査
5．24　東海聖高会
7　会報61号発行
7．6　正副会長会議
　前期定例理事会
　卓話講師　藤田 徹 氏
7．12　東京聖高会(創立20周年)
8．10　総会
　記念講演講師
　門 玲子　氏(昭24卒)
10．4　近畿聖高会
11．3　第60回南加賀地区中学校英語弁論大会
12　会報62号発行
H21
2．1　正副会長会議
　後期定例理事会
　卓話講師　久藤 豊治氏(昭31卒)

平成21年度　予算(案)

収入の部　　平成21年4月1日～22年3月31日

科目	予算額	摘要
入会金	2,300,000	230名×10,000円（第61回卒業生）
終身会費	2,400,000	(230名＋10名)×10,000円
繰越金	1,385	
諸収入	178,615	利息　英弁協賛金
合計	4,880,000	

支出の部

科目	予算額	摘要
総会費	260,000	ポスター代、看板代、講師謝礼、総会補助
会議費	180,000	ハガキ代　茶菓子代
事業費	1,350,000	総体・総文全国大会補助　英語弁論大会　卒業記念品代　会報63号64号
事務費	1,420,000	電話代　封筒代　会報郵送代　会報用宛名シール
事務手当	1,030,000	
各地区聖高会交流費	170,000	総会出席（福井、近畿）、他校視察
慶弔費	50,000	
雑費	60,000	新聞代　加能人
予備費	0	
基本財産	360,000	
合計	4,880,000	

平成21年度事業計画案

H21
4．26　福井聖高会
5．21　会計監査
7．5　正副会長会議
　前期定例理事会
8．9　総会
9．6　近畿聖高会総会
9　会報63号発行
10　100周年記念事業募金活動開始
11．1　第61回南加賀地区中学校英語弁論大会
H22
2．7　正副会長会議
　後期定例理事会
2．　会報64号発行

新任の挨拶

旭　直樹

この4月より校長に就任しました旭です。高校22回の卒業（昭和45年3月）で、母校での勤務は15年目になります。

南加賀地区の純朴で心優しい生徒諸君に恵まれ、教師として人間として私を育ててくれたこの大聖寺高校に再び勤めることができ、感謝の念で一杯であります。しかし、一方で、大聖寺高校の脈々たる伝統と、地域や同窓生からの大きな期待と声援に応えられるか、その責任の重さを痛感しており、大きな不安にも駆られています。

「袖すり合うも多生（他生）の縁」という、言葉があります。ちょっとした出会いでも、すべて前世からの因縁で起こるものだという意味です。私は、この言葉の意味を思い違いしていました。「多生(他生)の縁」の「多生（他生）」とは「多少」と思っていたのです。前世からの因縁で、今日の結果があると考えた時、私達の「これまで」と「これから」も、偶然ではなく、必然の結果であるといえます。

私も、ご縁があって、母校である大聖寺高校に、十二年ぶりに戻ってまいりました。以前14年間勤務させていただきましたが、再び戻ってくるとは思っていませんでした。しかし、ご縁があって、「母校で頑張れ！」という、前世からの因縁の声があったようであります。ともあれ、ご縁を大切にしたいと思います。もとより非力ではありますが、誠心誠意、母校発展のために尽くす所存でありますので、同窓会の皆様方には、何卒、ご支援、ご協力のほどお願い致します。

さて、本校は、来年、創立百周年を迎えます。これまでに、約二万四千人あまりの卒業生を輩出しており、現在、約一万九千人の同窓生が国の内外で活躍されております。先輩諸氏のおかげで、近隣の中学生をはじめ、学校関係者や地域の方々から厚い信頼も寄せられています。

これまでの激動の百年（明治、大正、昭和、平成）は、近代日本が世界の中で、如何に生きぬいていくか手探りしながら模索してきた時代でした。本校も、実科高等女学校、旧制中学校、新制高校と、それぞれの時代のニーズに対応して、最善を尽くし、有能な人材を輩出してきました。その間、一貫して「自主自律」の精神を堅持し、「人として大切なこと」をメッセージとして伝えるため、文武両道の全人教育を推進し、伝統の上に築かれた威厳と誇りを胸に、先輩諸氏の意志を引き継いでまいりました。

「時代は変化していくものですが、人間の感性だけは、古今東西、変わらないものと信じています。青春時代の「感動」が、その後の人生の「生きる力」になるものと確信しています。高校時代に、「感動」ある教育を提供したい。これが私の教育の原点であります。大学受験でも、部活動でも、ガムシャラに努力して、報われた時の喜び、報われなかった時の悔しさ、いずれにしても、損得ではなく、ヒタムキに打ち込んだ事に対しては、人として大切なものが刻まれていくはずです。「感動に涙する」のは、この地球上で人間だけの崇高な行為であり、最も人間らしい心の動きであると思っています。

感動ある教育を展開するためには、「質の高い、良い授業」と「時宜に応じた進路指導」を提供し、「体験学習（諸行事・部活動）」を通して、「チャレンジする生き方」を学校挙げて展開する必要があります。

本校は、手厚い学習・進路指導や生活指導を推進している誇りがあります。しかし、学校を取り巻く環境が大きく変化しており、その対応に苦慮している現状があります。今こそ、教育の原点を見つめ直し、先輩諸氏が培ってきた「人として大切なもの」を伝える使命と情熱を持った教職員による、人間教育への取組みを推進していかなければなりません。

今年も教職員が一丸となって、生徒達の自己実現へのチャレンジを応援していく所存でありますので、今後とも、同窓生の皆様の、変わらぬご支援・ご鞭撻をよろしくお願い致します。同窓生の皆様の益々の御健勝とご活躍を心よりお祈り申し上げ、新任の挨拶とさせていただきます。

転任の挨拶

松浦　裕

保護者となった多くの教え子たちに祝福される中、伝統ある大聖寺高校に昨年着任しました。過去に12年間も奉職し、愛着大きい南加賀の雄大聖寺高校をいかに育てるか、そして間近に迫っている創立百周年記念事業をいかに成功に導くかを念頭においたスタートでしたが、たった一年で去ることになるとは私自身思いもよらぬことでした。

この一年は文武両道をテーマに掲げ、部活動の活性化に努めました。部顧問には汗をともにすることでできる生徒との特別な信頼関係があります。担任と組んで生活面や学習面でより強固な指導ができ、生徒の自己実現に寄与できると考え、職員には部活動指導に励んでもらいました。何より生徒の元気なかけ声が聞こえ、活気のある学校にしたかったのです。今後は外からその成長を見守っていきたいと思います。

そして、百周年記念事業。東前校長より受け継いだ事業は、昨今の不況を考えれば前途多難と思われるものでありました。下口同窓会長の陣頭指揮のもと、多くの同窓会の皆様のご支援を頂きまして具体的な姿を皆様にお知らせすることができ、旭校長に引き継いだことは私自身大変嬉しいことであります。

たった一年でありましたが、県下有数の組織力と活力を誇る聖高同窓会の力が実感できた一年でした。下口同窓会長をはじめとして、歴代の会長様や支部長様、役員の方々から愛情あふれる励ましの言葉やご支援を頂き、なんとかやってこれたと感謝の気持ちでいっぱいです。

大聖寺高校がめでたく百周年を迎え、聖高同窓会がますます発展し続けることを祈念してお礼の挨拶にしたいと思います。ありがとうございました。

各地区同窓会連絡先　平成21年4月

同窓会本部　会長　下口　幸雄(昭37年高卒)
事務局・連絡先　〒922-0024
石川県加賀市大聖寺永町33-1　同窓会館内
TEL 0761-73-2771
FAX 0761-75-7117（学校内）
E -mail　seikobog@dsjhs.jp

金沢聖高会　会長　黒木　輝久(昭36年高卒)
事務局・連絡先　〒921-8042
金沢市泉本町2丁目126番地　日本海コンサルタント株式会社内
TEL　076-243-8258

東京聖高会　会長　堀　　勉(昭37年高卒)
会長住所　〒262-0014
千葉市花見川区さつきが丘2-24-15
TEL 043-286-0572
事務局・連絡先　〒203-0034
東京都東久留米市弥生1-2-46　榎本英夫 様方
TEL 042-469-4588　FAX 042-469-4589

東海聖高会　会長　中嶋　幸寿(昭37年高卒)
会長住所　〒509-0122
岐阜県各務原市新鵜沼台6-17
TEL 058-370-3376
事務局・連絡先　〒511-0811
桑名市徳成町1620-47　本谷泰彦 様方
TEL 0594-21-4582

近畿聖高会　会長　中西　道彦(昭35年高卒)
事務局・連絡先　〒567-0835
茨木市新堂3-26-16　逢坂哲朗 様方
TEL 0726-34-2813

福井聖高会　会長　山下　　修(昭38年高卒)
会長住所
〒910-0015　福井市二の宮3-16-26
TEL 0776-26-2937
事務局・連絡先　〒923-0313
小松市津波倉33　百井和義 様方
TEL 0761-44-2680